電気学会優秀論文発表賞受賞
～自律移動支援システム用ネットワーク部の開発～

エネルギア総合研究所　系統・情報通信担当　武内　保憲

平成19年1月25，26日に福岡市内で開催された電気学会通信研究会で発表した論文「自律移動支援システム用ネットワーク部の開発」について，このたび社団法人電気学会から優秀論文発表賞をいただきました。

授賞式は，平成20年8月20日に函館市内のロワジールホテルで，平成20年電気学会電子・情報・システム部門大会の懇親会にあわせて行われ，賞状と記念メダルを授与されました。

受賞対象となった論文は，自律移動支援システム（移動のために必要な情報を音声や地図で提供することにより，視覚障がい者や地理不案内な方などの移動を支援・補助するシステム）に適用することを意図して当所で開発した「高精度の位置・方向検知システム」(1)の制御・保守を汎用無線を用いて行う技術の開発に関するものです。この技術は，昨年度受託業務として実施した「広島市児童見守りシステムモデル事業」(2)で使用した「高精度位置検知システムを適用した子ども見守りシステム」(3)に適用し，モデル事業の中でシステムのパラメータ設定，通信ルート設定，ヘルスチェック（健全性確認）などの制御・保守を容易かつ確実に行うことができ，実用に耐え得ることが確認されました。

本技術を適用した「高精度位置検知システムを適用した子ども見守りシステム」は，実用面で高評価をいただき，先般，u-Japanベストプラクティス2008に選出されました(4)。そして今回は，本技術について学術面でも高評価をいただけたということで，開発者としてはうれしい限りです。

今回受賞したことを励みにして研鑽を重ね，世の中の役に立つシステムをこれからも開発していきたいと思います。

最後になりましたが，本技術の開発について多大なご支援・ご協力をいただいた有限会社アール・シー・エス，日本電気株式会社の関係各位に謝意を表します。

五稜郭（函館市）

電気学会優秀論文発表賞
武内保憲殿
平成19年における優秀論文発表の功績を顕揚するため、創立100周年記念基金学術振興助成規程により電気学会優秀論文発表賞を贈呈します。
平成 20 年 8 月 20 日
社団法人 電気学会
会長 田 郎

授与された賞状

授与された記念メダル

（1）武内，「高精度の位置・方向検知システムの開発」，エネルギア総研レビュー9号（平成19年9月）
（2）武内，「広島市児童見守りシステムモデル事業」，エネルギア総研レビュー12号（平成20年6月）
（3）武内，「子供の見守りシステムの開発」，エネルギア総研レビュー11号（平成20年2月）
（4）武内「高精度位置検知システムを適用した児童見守りシステムがu-Japanベストプラクティス2008に選出されました」，エネルギア総研レビュー13号（平成20年9月）